

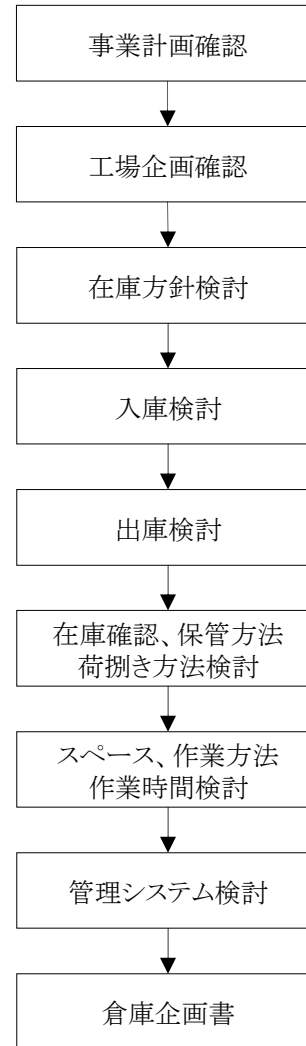
製品倉庫の企画では、販売からの出荷条件と、生産による入庫条件の差異を吸収できる在庫量を保管できる倉庫機能と、その在庫管理のための入出庫作業並びにそのためのスペース、管理システム等を企画することになります。

検討には、出荷条件につながる受注対応納期、出荷形態等を明らかにし、それを実現するための在庫基準等を設定していくことになります。

さらに倉庫の基本方式(自動倉庫、平積み倉庫や荷捌き方式)を仮設した上で、倉庫レイアウト、在庫スペース、入庫時・出荷時の荷捌き方法、荷捌きスペース等の検討を行います。近年の多品種少量の出荷対応のためには、自動ピッキング等も有効に活用している倉庫もあります。

最終的に、建屋、設備、作業者、システム等の検討を行ない、費用の見積り、コストの見積りを行い企画書としてまとめいくとよいでしょう。

展開ステップ



倉庫構想手順

